

HYfAX SERIES

DL3SA

DATA LOGGER INTERFACE



取扱説明書

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。
お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。




使用している表示

本書で使用している警告表示、注意表示の意味は次のとおりです。

 警告	この表示の項目を守らないと、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。
 注意	この表示の項目を守らないと、人が傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容を表示しています。







使用している記号

本書で使用している記号の意味は次のとおりです。

	この記号は禁止行為の説明を表示します。
	この記号は注意していただきたい行為の説明を表示します。
	この記号は必ず実行していただきたい行為の説明を表示します。

警告

警告

- | | |
|---|--|
|  本機は専用電源以外では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。 |  本機の上に水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。
こぼれたり、中に入ったりすると、火災・感電の原因となります。 |
|  本機に水が入ったり、機器がぬれたりしないようご注意ください。雨天・降雪時や海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
火災・感電の原因となります。 |  ケーブルを傷つけないでください。
・重いものを上に載せない
・加工をしない
・ステープルで止めない
・無理な力を加えない
・熱器具には近づけない
火災や感電、故障の原因となります。 |
|  直射日光の当たる場所や、湿気、ほこり、油煙、湯気が多い場所には置かないでください。
火災・感電の原因となります。 |  濡れた手で操作しないでください。
感電の原因となります。 |

警告



本機を分解しないでください。内部の点検・整備・修理が必要と思われるときは、弊社サポートにご依頼ください。
感電の原因となります。



本機を改造しないでください。
火災・感電の原因となります。

注意

注意



運搬および移動時に外部から強い衝撃を与えないように注意してください。
故障の原因となることがあります。



内部の温度上昇を防ぐため、本機のケース前面と側面には通風孔を開けてあります。
通風孔がふさがると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

特に次のような使い方は避けてください。

- ・ 機器をおお向けや横倒し、逆さまにする。
- ・ 本箱や押し入れなど、専用ラック以外の風通しの悪い狭いところに押し込める。
- ・ テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いて使用する。



EIA 標準のラックに本機をマウントする場合は、ラックの背面を開放して、ラックを壁から 10cm 以上離してください。

放熱が不十分だと機器内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。



パワーアンプなどの発熱しやすい機器と一緒にマウントする場合は、機器と機器の間を空けたり通風パネルなどを取り付けるなど、本機に熱がこもらないようにしてください。その場合は、本機を重ねてマウントできます。

放熱が不十分だと機器内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。



不安定な場所に置かないでください。
本機が転倒して落下したり、けがの原因となることがあります。



本機の入力に指定外の信号を入れないでください。
故障の原因となります。



本機の出力を短絡したまま放置しないでください。
機器内の温度が上がり、故障やその他の事故の原因となることがあります。

<目次>

1.	はじめに.....	2
2.	前面パネル.....	2
①	POWER表示灯.....	3
②	STATUS表示灯.....	3
③	FAULT表示灯.....	3
④	GPI表示灯.....	3
⑤	PCI/Fコネクタ.....	3
3.	後面パネル.....	3
①	LEVEL SIGNAL IN.....	3
②	IMP CHECK OSC OUT.....	3
③	RELAY CONT.....	4
④	GPI I/O.....	4
⑤	LAN.....	4
⑥	TEMP.....	4
⑦	AC6V IN.....	4
⑧	DC24V IN.....	4
⑨	FG.....	4
4.	各コネクタピンアサイン.....	4
①	LEVEL SIGNAL IN.....	4
②	IMP CHECK OSC OUT.....	4
③	RELAY CONT.....	5
④	GPI I/O.....	6
⑤	TEMP.....	7
⑥	AC6V IN.....	7
5.	各種設定.....	7
①	コネクタピンアサイン：D-SUB9ピン（メス：インチネジ）.....	7
②	RS-232C通信フォーマット.....	8
③	メニュー構成.....	8
④	メニュー詳細.....	9
6.	主な仕様.....	14
①	仕様.....	14
②	外形寸法図.....	15

1. はじめに

本ユニットは、音声ログ機能、スピーカーインピーダンスチェック機能、AC電源監視機能、温度監視機能、汎用入出力機能を搭載し、これらの情報はデジタル変換されてイーサネット経由でサーバーパソコンと通信を行います。

音声ログ機能では、16回線の音声信号（バランス入力）が入力可能で、16BitAD変換されます。

スピーカーインピーダンスチェック機能では、本ユニットにOSCを内蔵し1/3oct（31ポイント）の周波数出力が可能です。

また、各周波数においてサンプリング回数などが設定可能です。

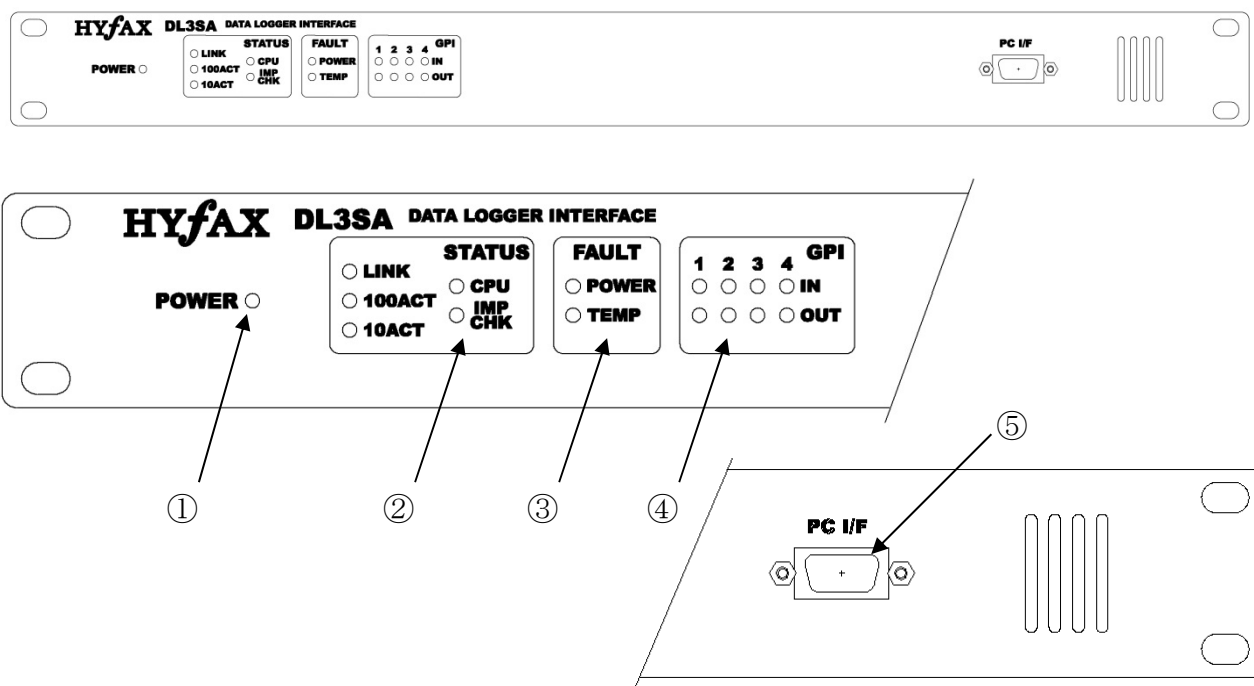
AC電源監視機能では、AC電源（AC6V）の波形監視が可能で、異常があるとサーバーパソコンへ通知し、そのときの異常波形データ（60ポイント）をサーバーからの指示により送信します。（閾値などはサーバーから設定可能です）

温度監視機能では、サーバーパソコンから指定した閾値を超えると、サーバーに通知します。

汎用入出力機能では、入力4点（フォトカプラー受け）、出力4点（オープンコレクター）の入出力端子があり、サーバーパソコンから遠隔操作可能です。

本ユニットの前面には、メンテナンス用通信コネクタ（PC I/F）が搭載されていますので、本体の各種ネットワーク設定などが行えます。

2. 前面パネル



① POWER表示灯

本ユニットに電源が供給されていると緑色に点灯します。

② STATUS表示灯

LINK : イーサネット接続でLINKすると黄色に点灯します。

100ACT : 100BASE接続時に緑色に点灯し、データの送受信で点滅します。

10ACT : 10BASE接続時に緑色に点灯し、データの送受信で点滅します。

CPU : 内蔵CPUが動作中は約1秒間隔で点滅(緑色)します。

IMPCHK : インピーダンスチェックモード中に橙色に点灯します。

③ FAULT表示灯

POWER : 電源異常を検出すると赤色に点灯します。

TEMP : 温度異常を検出すると赤色に点灯します。

消灯させるには、サーバーパソコンから操作するか電源の再起動が必要です。

④ GPI表示灯

IN 1~4 : 接点信号が入力されると表示灯が黄色に点灯します。

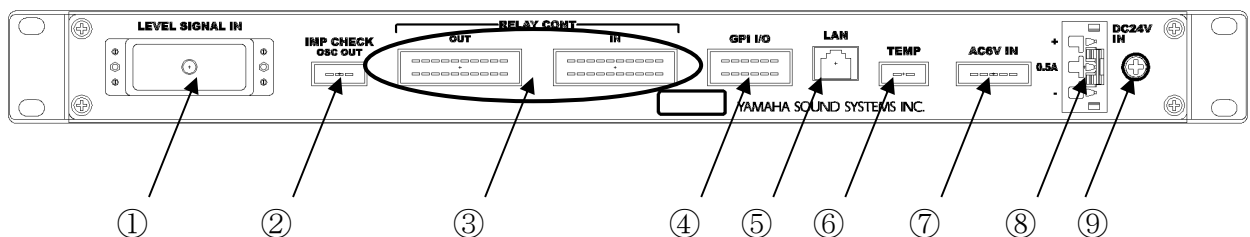
OUT 1~4 : 信号を出力すると表示灯が黄色に点灯します。

※) IN-4はユニット内部にて使用していますので常時点灯します。

⑤ PCI/Fコネクタ

外部設定用パソコンと接続します。メンテナンス用です。

3. 後面パネル



① LEVEL SIGNAL IN

16回線分の音声信号入力コネクタです。

② IMP CHECK OSC OUT

インピーダンスチェック時、正弦波が出力されます。対応周波数は20,25,32,40,50,63,80,100,125,125,160,200,250,315,400,500,630,800,1k,1.25k,1.6k,2k,2.5k,3.15k,4k,5k,6.3k,8k,10k,12.5k,16k,20kHzの計31ポイントです。

③ RELAY CONT

IN : 出力制御パネル (スイッチ) などを接続します。

OUT : 出力制御リレーなどを接続します。

④ GPI I/O

接点制御入出力です。

⑤ LAN

LAN (10BASE-Tまたは100BASE-Tx) によりサーバーパソコンと接続します。

⑥ TEMP

温度プローブと接続します。0V~5Vの範囲で入力します。

⑦ AC6V IN

AC電源異常検出用コネクタです。AC50Hzまたは60Hzの正弦波を入力します。

⑧ DC24V IN

電源入力コネクタです。

⑨ FG

フレームグランド端子です。このFG端子で接地してください。

4. 各コネクタピンアサイン

① LEVEL SIGNAL IN

<54-56-000-607:メス(メイワ製)>

CH 番号	Hot	Cold	Shield	CH 番号	Hot	Cold	Shield
1	A	E	L	9	k	p	u
2	B	F	M	10	l	r	v
3	C	H	N	11	m	s	x
4	D	J	P	12	n	t	y
5	R	W	a	13	z	DD	KK
6	S	X	b	14	AA	EE	LL
7	U	Y	c	15	BB	FF	MM
8	V	Z	d	16	CC	HH	NN

② IMP CHECK OSC OUT

<1-178293-5(AMP製)>

Hot	Cold	Shield
2	3	1

③ RELAY CONT

< 178308-5 (AMP製) >

【IN】

Pin 番号	信号名	Pin 番号	信号名
A 1	RELAY CONT 1	B 1	RELAY CONT 2
A 2	RELAY CONT 3	B 2	RELAY CONT 4
A 3	RELAY CONT 5	B 3	RELAY CONT 6
A 4	RELAY CONT 7	B 4	RELAY CONT 8
A 5	RELAY CONT 9	B 5	RELAY CONT 10
A 6	RELAY CONT 11	B 6	RELAY CONT 12
A 7	RELAY CONT 13	B 7	RELAY CONT 14
A 8	RELAY CONT 15	B 8	RELAY CONT 16
A 9	測定 OFF	B 9	EMG 情報
A 10	COM	B 10	COM

【OUT】

Pin 番号	信号名	Pin 番号	信号名
A 1	RELAY CONT 1	B 1	RELAY CONT 2
A 2	RELAY CONT 3	B 2	RELAY CONT 4
A 3	RELAY CONT 5	B 3	RELAY CONT 6
A 4	RELAY CONT 7	B 4	RELAY CONT 8
A 5	RELAY CONT 9	B 5	RELAY CONT 10
A 6	RELAY CONT 11	B 6	RELAY CONT 12
A 7	RELAY CONT 13	B 7	RELAY CONT 14
A 8	RELAY CONT 15	B 8	RELAY CONT 16
A 9	N.C	B 9	N.C
A 10	COM	B 10	COM

④ GPI I/O

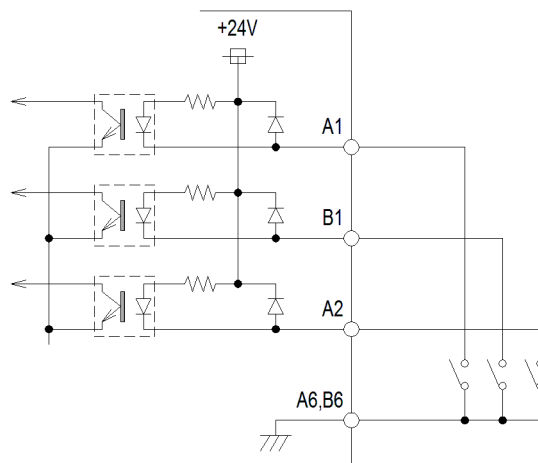
< 178306-5 (AMP製) >

Pin 番号	信号名	Pin 番号	信号名
A 1	GPI IN 1	B 1	GPI IN 2
A 2	GPI IN 3	B 2	GPI IN 4 ※)
A 3	GPI OUT 1	B 3	GPI OUT 2
A 4	GPI OUT 3	B 4	GPI OUT 4
A 5	N.C	B 5	N.C
A 6	GND	B 6	GND

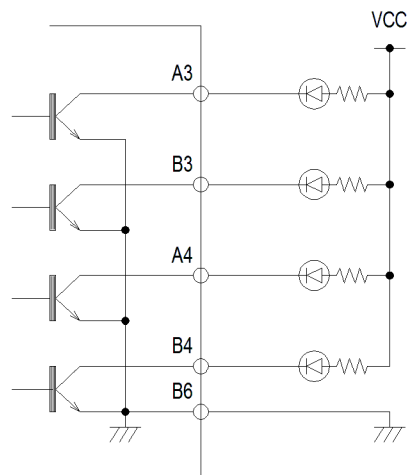
※) GPI IN 4はユニット内部で使用済み。

【GPI IN 等価回路】

スイッチなどの接点を入力してください。



【GPI OUT 等価回路】



⑤ TEMP

< 1-179276-5 (AMP製) >

Pin 番号	信号名
1	Temp +
2	Temp GND

温度プローブと接続します。DC 0V～5Vの範囲で入力します。

⑥ AC6V IN

< 1-178295-5 (AMP製) >

Pin 番号	信号名
1	⌋ AC6V IN L
2	⌋
3	⌋ AC6V IN N
4	⌋
5	N.C

5. 各種設定

PC I/Fコネクタと外部パソコンをRS-232Cで接続し、TeraTerm などから各種設定が可能です。

① コネクタピンアサイン：

D-sub9ピン (メス：インチネジ)

Pin 番号	信号名
1	N.C
2	TXD
3	RXD
4	N.C
5	GND
6	N.C
7	⌋ 内部にて折り返し
8	⌋
9	N.C

② RS-232C通信フォーマット

項目	内容
通信方式	半二重
通信速度	19200bps
データ長	8bit
ストップビット	1bit
パリティチェック	無し
フロー制御	無し

③ メニュー構成

メニュー一覧	機能
Top menu	トップメニュー
+ Log menu	ログ表示メニュー
+ Event trace	イベントログ表示
+ Error trace	エラーログ表示
+ Assert trace	アサートログ表示
+ Task status	タスク状態表示
+ Quit	ログ表示メニュー終了
+ Edit settings menu	設定編集メニュー
+ View network settings	ネットワーク設定表示
+ Set source IP address	自己 IP アドレス設定メニュー
+ Enter IP address	自己 IP アドレス入力
+ Confirm	自己 IP アドレス更新確認
+ Set source port number	待ち受けポート番号設定メニュー
+ Enter port number	待ち受けポート番号入力
+ Confirm	待ち受けポート番号更新確認
+ Set default gateway	デフォルトゲートウェイ設定メニュー
+ Enter default gateway	デフォルトゲートウェイ入力
+ Confirm	デフォルトゲートウェイ更新確認
+ Set subnet mask	サブネットマスク設定メニュー
+ Enter subnet mask	サブネットマスク入力
+ Confirm	サブネットマスク更新確認
+ Set destination IP address	接続先 IP アドレス設定メニュー
+ Enter IP address	接続先 IP アドレス入力
+ Confirm	接続先 IP アドレス更新確認

+ Set destination port number	接続先ポート番号設定メニュー
+ Enter port number	接続先ポート番号入力
+ Confirm	接続先ポート番号更新確認
+ Display version	バージョン表示
+ Reset CPU	ソフトウェアリセット
+ Confirm	ソフトウェアリセット確認
+ Quit	設定編集メニュー終了

④ メニュー詳細

(ア) トップメニュー

No.	操作	画面表示
1	ユニットの電源投入後、 Enter キー押下でトップメニューが表示される。	↓ <<< Start YSS datalogger slave unit Ver0.14 100107 >>> ((Top menu list)) [L] View log info [S] Edit settings [Q] Quit >
2	トップメニュー表示中に L↓を押下すると、ログ表示メニューが表示される。	>L↓ ((Log menu list)) [V] Event trace [E] Error trace [A] Assert trace [T] Task status [Q] Quit L>
3	トップメニュー表示状態で S↓を押下すると、設定編集メニューが表示される。	>S↓ ((Edit settings menu list)) [N] View network settings [I] Set source IP address [P] Set source port number [G] Set default gateway [S] Set subnet mask [A] Set destination IP address [O] Set destination port number

		[V] Display version [R] Reset CPU [Q] Quit S>
4	トップメニュー表示状態で Q↓を押下すると、トップメニューを終了する(表示はない)。	>Q↓

(イ) ログ表示メニュー

No.	操作	画面表示
	ログ表示メニュー表示中に V↓を押下すると、イベントログの一覧を表示した後、ログ表示メニューが表示される。	((Log menu list)) [V] Event trace [E] Error trace [A] Assert trace [T] Task status [Q] Quit L>V↓ No. YYMMDDhhmmss Info1 Info2 Info3 Info4 Info5 Info6 01 100106123456 00 00 00 00 00 00 02 100106123456 00 00 00 00 00 00 03 100106123456 00 00 00 00 00 00 04 100106123456 00 00 00 00 00 00 L>
5	ログ表示メニュー表示中に E↓を押下すると、エラーログの一覧を表示した後、ログ表示メニューが表示される。	L>E↓ No. YYMMDDhhmmss From Info1 Info2 Info3 Info4 Info5 01 100106123456 Lan 00 00 00 00 00 02 100106123456 Cycle 00 00 00 00 00 03 100106123456 Main 00 00 00 00 00 04 100106123456 Monitor 00 00 00 00 00 L>
6	ログ表示メニュー表示中に A↓を押下すると、アサートログの一覧を表示した後、ログ表示メニューが表示される。	L>E↓ No. YYMMDDhhmmss Task Info1 Info2 Info3 Info4 Info5 01 100106123456 Lan 00 00 00 00 00

		<pre> 02 100106123456 Cycle 00 00 00 00 00 03 100106123456 Main 00 00 00 00 00 04 100106123456 Monitor 00 00 00 00 00 L> </pre>
7	ログ表示メニュー表示中に T↓を押下すると、タスク状態の一覧を表示した後、ログ表示メニューが表示される。	<pre> L>T↓ ID Task Pri Status Wait TmOut 01 Lan 02 WAI MBX FFFFFFFF 02 Cycle 06 WAI SLP FFFFFFFF 03 Main 04 WAI MBX FFFFFFFF 04 Monitor 08 RUN FFFFFFFF L> </pre>
8	ログ表示メニュー表示中に Q↓を押下すると、ログ表示メニューを終了し、トップメニューが表示される。	<pre> L>Q↓ <<< Start YSS datalogger slave unit Ver0.14 100107 >>> ((Top menu list)) [L] View log info [S] Edit settings [Q] Quit > </pre>

(ウ) 設定編集メニュー

No.	操作	画面表示
1	設定編集メニュー表示中に N↓を押下すると、ネットワーク設定の一覧を表示した後、設定編集メニューが表示される。	<pre> ((Edit settings menu list)) [N] View network settings [I] Set source IP address [P] Set source port number [G] Set default gateway [S] Set subnet mask [A] Set destination IP address [O] Set destination port number [V] Display version [R] Reset CPU [Q] Quit S>N↓ </pre>

		Source MAC address AB:CD:EF:01:23:45 Source IP address 192.168.000.020 Source port number 49155 Default gateway 192.168.000.001 Subnet mask 255.255.255.000 Destination IP address 192.168.000.010 Destination port number 49153 S>
2	設定編集メニュー表示中に I↓ を押下すると、現在の自己 IP アドレス設定値を表示した後、新しい設定値の入力が要求される。	S>I ↓ Now 192.168.000.020 Set ?
	設定値の入力を要求中に IP アドレスを入力すると、書き込み許可入力が要求される。	Set ?192.168.0.21 ↓ Write OK (Y/N) ?
	書き込み許可入力を要求中に Y↓ を押下すると、設定値を更新した後、設定編集メニューが表示される。	Write OK (Y/N) ?Y ↓ S>
3	設定編集メニュー表示中に P↓ を押下すると、現在の待ち受けポート番号設定値を表示した後、新しい設定値の入力が要求される。	S>P ↓ Now 49155 Set ?
	設定値の入力を要求中にポート番号を入力すると、書き込み許可入力が要求される。	Set ?49154 ↓ Write OK (Y/N) ?
	書き込み許可入力を要求中に Y↓ を押下すると、設定値を更新した後、設定編集メニューが表示される。	Write OK (Y/N) ?Y ↓ S>
4	設定編集メニュー表示中に G↓ を押下すると、現在のデフォルトゲートウェイ設定値を表示した後、新しい設定値の入力が要求される。	S>G ↓ Now 192.168.000.020 Set ?
	設定値の入力を要求中に IP アドレスを入力すると、書き込み許可入力が要求され	Set ?192.168.0.1 ↓ Write OK (Y/N) ?

	る。	
	書き込み許可入力を要求中に Y↓を押下すると、設定値を更新した後、設定編集メニューが表示される。	Write OK (Y/N) ?Y↓ S>
5	設定編集メニュー表示中に S↓を押下すると、現在のサブネットマスク設定値を表示した後、新しい設定値の入力が要求される。	S>S↓ Now 255.255.255.255 Set ?
	設定値の入力を要求中にアドレスマスクを入力すると、書き込み許可入力が要求される。	Set ?255.255.255.0↓ Write OK (Y/N) ?
	書き込み許可入力を要求中に Y↓を押下すると、設定値を更新した後、設定編集メニューが表示される。	Write OK (Y/N) ?Y↓ S>
6	設定編集メニュー表示中に A↓を押下すると、現在の接続先 IP アドレス設定値を表示した後、新しい設定値の入力が要求される。	S>A↓ Now 192.168.000.020 Set ?
	設定値の入力を要求中に IP アドレスを入力すると、書き込み許可入力が要求される。	Set ?192.168.0.1↓ Write OK (Y/N) ?
	書き込み許可入力を要求中に Y↓を押下すると、設定値を更新した後、設定編集メニューが表示される。	Write OK (Y/N) ?Y↓ S>
7	設定編集メニュー表示中に O↓を押下すると、現在の接続先ポート番号設定値を表示した後、新しい設定値の入力が要求される。	S>O↓ Now 49154 Set ?
	設定値の入力を要求中にポート番号を入力すると、書き込み許可入力が要求される。	Set ?49155↓ Write OK (Y/N) ?
	書き込み許可入力を要求中に Y↓を押下すると、設定値を更新した後、設定編集メニューが表示される。	Write OK (Y/N) ?Y↓ S>
8	設定編集メニュー表示中に V↓を押下すると、ソフトウェアバージョンを表示した	S>V↓ YSS datalogger slave unit Ver0.14 100107

	後、設定編集メニューが表示される。	S>
9	設定編集メニュー表示中に R↓を押下すると、ソフトウェアリセット許可入力が必要される。	S>R↓ Are you ready (Y/N) ?
	ソフトウェアリセット許可入力を要求中に Y↓を押下すると、ユニットが再起動された後、トップメニュー起動待ち状態となる。	Are you ready (Y/N) ?Y↓
10	設定編集メニュー表示中に Q↓を押下すると、設定編集メニューを終了し、トップメニューが表示される。	S>Q↓ <<< Start YSS datalogger slave unit Ver0.14 100107 >>> ((Top menu list)) [L] View log info [S] Edit settings [Q] Quit >

6. 主な仕様

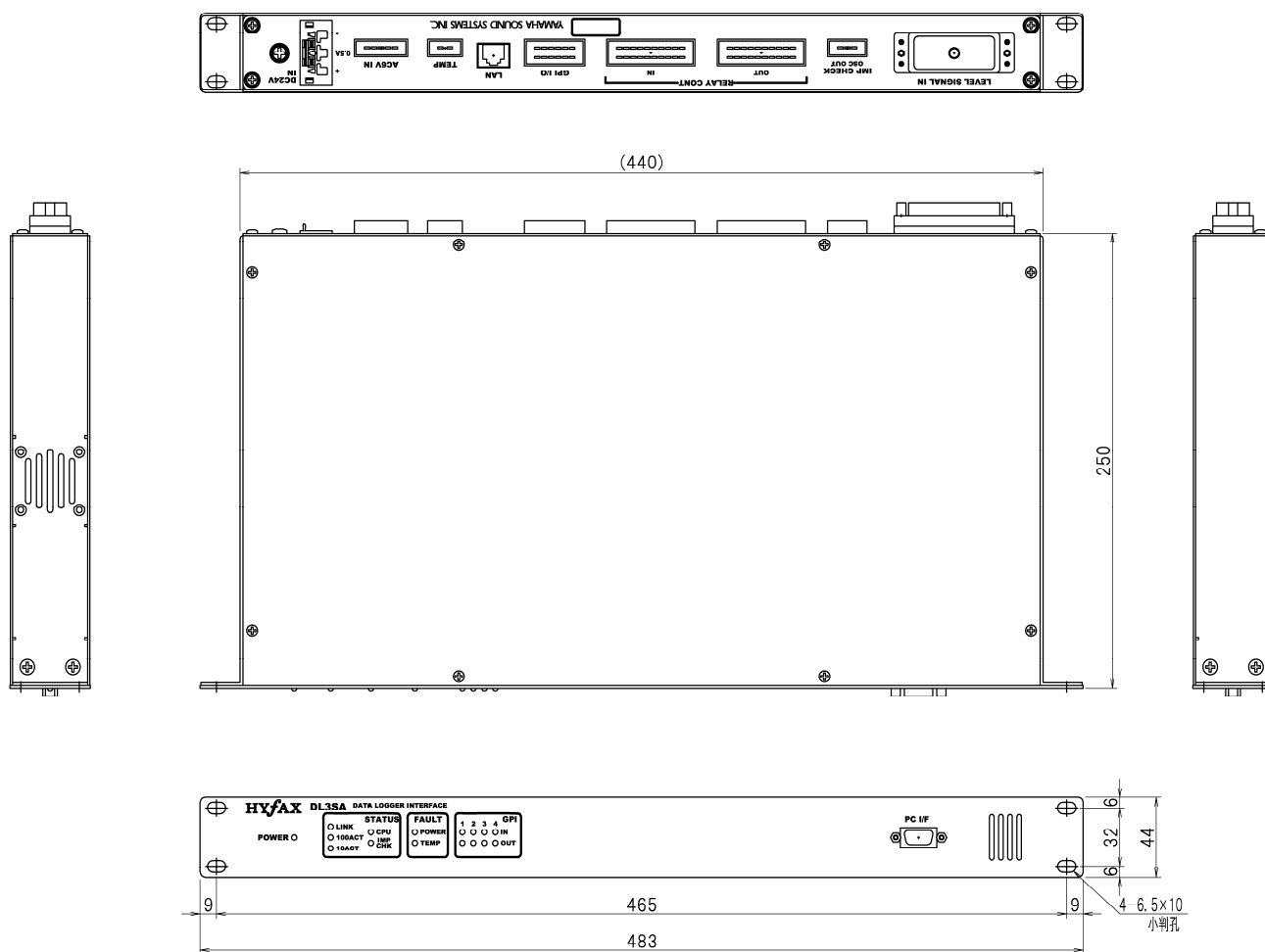
① 仕様

0dB=0.775V

No.	項目	内容	備考
1	LEVEL SIGNAL IN (16 回線)	-10dB(規定値)@1 k Hz +10dB(最大値)@1kHz	0vu 振れ
		20Hz~20kHz +1.5,-3.0dB @-10dB,1kHz 基準	
2	IMP CHEK OSC OUT (1 回線)	-10dB (±0.5dB@1kHz)	8Ω 負荷
		20Hz~20kHz ±1.5dB @-10dB,1kHz 基準	
3	TEMP	DC0V~5V	
4	AC6V IN	3.5dB(規定値) @50Hz or 60Hz	
5	RELAY CONT IN/OUT	IN-OUT はスルー接続 1 系統最大 100mA@DC24V	
		測定 OFF:DC24V/15mA EMG 情報:DC24V/5mA	

6	GPI I/O	IN:DC24V/5mA OUT:オープンコレクター(最大20mA)	
7	LAN	10BASE-T/100BASE-TX	
8	PC I/F	RS232C 準拠	
9	電源	DC24V/0.5A	
10	寸法	(W)483×(H)44×(D)250 (EIA-1U)	単位 mm、突起部含まず
11	仕上げ	SPCC 1.6 t 前面:N-1 半艶焼付け塗装 その他:3 価クロメート	

② 外形寸法図



保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行う事をお約束するものです。
お買い上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、本書を
ご提示の上お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品名	データロガーインターフェース		
品番	DL3SA		
製造番号			
保証期間	本体	お買い上げ日から1年間	
お買い上げ日	年 月 日		
お客様	ご住所 〒		
	お名前		
	電話 ()		
販売店	店名		
	所在地		
	電話	()	

- 保証期間中、正常な使用状態（取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに従った使用状態）で故障した場合には、無料修理をいたします。
- 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、本書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- ご贈答品、ご購入後の修理についてお買い上げ販売店にご依頼できない場合には、ヤマハサウンドシステム各営業所までお問い合わせください。
年間保守点検をご契約のお客様は、ヤマハサウンドシステム カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様、お買い上げの販売店の記入がない場合。
 - 本書の字句を書き換えられた場合。
 - 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - お買い上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
 - お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。
- この保証書は日本国内においてのみ有効です。
- この保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

*この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、ヤマハサウンドシステム各営業所までお問い合わせください。
年間保守点検をご契約のお客様は、ヤマハサウンドシステム カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

ヤマハサウンドシステム株式会社

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町41番12号

TEL : 03-5652-3600

ヤマハサウンドシステム営業所のご案内

東京営業所	〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町41番12号 KDX箱崎ビル TEL : 03-5652-3600 FAX : 03-5652-3927
仙台営業所	〒984-0806 宮城県仙台市若林区舟丁16番地 小林ビル TEL : 022-796-0061 FAX : 022-212-2070
名古屋営業所	〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1丁目18番28号 ヤマハ名古屋ビル TEL : 052-201-4922 FAX : 052-201-5650
大阪営業所	〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島4丁目7番18号 まるみやビル TEL : 06-6301-7263 FAX : 06-6301-7269
福岡営業所	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3丁目28番3号 三洲博多駅前ビル TEL : 092-452-2811 FAX : 092-452-2796

年間保守点検をご契約のお客様は下記窓口までお問い合わせください。

ヤマハサウンドシステム カスタマーサポートセンター

フリーダイヤル  0120-022-808

受付時間：月曜～金曜 9：00～17：00
土日・祝日 10：00～18：00

(システム全般についてのお問い合わせは土日・祝日にも対応いたします。ただし、センター指定定休日を除く)

※名称、所在地、電話番号は変更になる場合がございますのでご了承ください。